

バラク・フセイン・オバマ・ジュニア米国大統領 様  
ジョン・V・ルース駐日米国大使 様

普天間飛行場は、ラムズフェルド元国防長官が言ったように、「世界一危険な米軍基地」なのだと思います。毎日多くの周辺住民が危険にさらされているのです。だから、早急に閉鎖し、きれいに整備して、返還してください。普天間飛行場は、1945年4月に米軍が同地域制圧と同時に接收し、米陸軍工兵隊が本土重爆撃機専用として新しく2,000m滑走路を建設してできたそうですね。要するに日米戦争により米国が占領した土地です。戦後64年も経過したのだから無条件で返還してください。それができて初めて「もはや戦後ではない」と言えるのです。

戦後ずっと沖縄を占領して使用してきた米軍基地のために、沖縄住民は多大な基地被害をこうむってきました。暴行殺人など絶え間なく続く米兵による犯罪、騒音、汚染、自然破壊などで。それゆえ沖縄住民はもう米軍基地はこりごりだ、早く基地を無くしてほしいと願っています。つい先日の世論調査でも、普天間基地は県外か国外へ移設すべきとの回答が70%に達しています。米軍基地の縮小・撤去を8割、日米地位協定の抜本的見直しを57%が指示しています。ラムズフェルド元国防長官は、歓迎されないところに米軍基地を置きたくないと発言しましたね。沖縄にある米軍基地の縮小・撤去を是非今考えてください。それができて初めて「もはや戦後ではない」と言えるのです。

今鳩山新政権は沖縄密約や核密約を調査しています。戦後64年間、あなた方米国政府と、われわれの自民党を中心とする日本政府が、沖縄の住民や日本に住む人々をだまし続けてきた過ちが、既に多くの資料から明らかになっています。この調査でその過ちを日本政府が認めることになるでしょう。米国政府は、第2次世界大戦後に日本を属国とし、日本政府を恫喝して、おまけに「思いやり予算」が象徴するように我々の税金まで分捕って、好きなように基地を使ってきました。

日本の基地を何のために使ってきたのでしょうか。あなた方米国政府は、過去には東西冷戦を口実に、今は対テロ戦争を口実に、ベトナム戦争、アフガン攻撃、イラク攻撃ほか多くの独立国への侵略戦争を、日本にある米軍基地を活用して行い、沢山の人々を殺し傷つけ生活を破壊してきました。そう、あなたがた米国は世界一のテロ国家だと私たちは考えています。

再度確認してください、「もはや戦後ではない」と。以下のことを私たちは要請します。

- 危険な普天間基地を即時閉鎖してください
- ブッシュ政権と自公政権で合意された日米軍事再編は白紙撤回してください
- 沖縄にある米軍基地の縮小・撤去計画を、オバマ政権と鳩山新政権で作し、実行してください
- 日本にある米軍基地の縮小・撤去計画を作り、実行してください
- 日米軍事同盟（日米安全保障条約）を解消し、日米平和友好条約を締結してください

以上の我々の要請に米国が応じなければ、日本政府は近いうちに日米安保条約の一年後の破棄を通告するかも知れませんよ。

以上、ご検討願います。

2009年11月8日 新しい反安保行動をつくる実行委員会  
東京都千代田区三崎町3-1-18 近江ビル4階 市民のひろば気付  
TEL : 03-5275-5989 / FAX : 03-3234-4118  
メール : hananpojitsu@jca.apc.org  
URL : <http://www.jca.apc.org/hananpojitsu>